



今年度 9 学年揃うイベントは雨に見舞われがちで、梅雨の時期であるヨハネ祭も 1 週間前予報では雨天の可能性もあり天候が危ぶまれましたが、前倒しに雨が降ったお陰で当日は晴天。保護者も橋の下の日陰から祝祭を見守りました。

ヨハネ祭 6月23日(金)



一年の中で昼が一番長い日、夏至。

春から夏に向かって、植物もどんどん伸びて、地球の呼吸も外に外に広がります。

その夏至の日に、鴨居の河川敷にてヨハネ祭が行われました。

ヨハネ祭は、太陽の力を頂く、力のお祭り。

ヨハネは、その後に来られるキリストの為にその道を真っ直ぐにし、またキリストに洗礼を施した人でした。その浄化の力をお祭りを通して私たちも頂きます。

例年、雨に降られることも多かったと聞いていましたが、今年はお天気に恵まれました。

先生の奏でる軽快なヴァイオリンの音色に合わせて子どもたちが踊ります。

上級生と手と手を繋いで順番に踊る子どもたちの顔はとても生き生きとしていて、見ている私たちまで心が弾みました。

太陽を象徴とした輪に、火の布を付けた球を投げ入れる遊びも、みんなで真剣に遊びました。

上級生が輪を持ってきて、低学年の為に高さを低くしてくれました。下級生を見守る上級生たちの目



そして本日のメインイベント。浄化を意味する焚き火をジャンプして飛び越えていきます。

みんなの顔に緊張が走り、一人飛び越える度にドキドキ…大人の私たちでも焚き火を飛び越えることは大きな勇気がいることなのに、みんな勇敢に飛び越えていきます。上級生のお兄さんお姉さんたちが飛ぶとき、危うい場面もありヒヤリとしましたが、みんな無事に飛び越えきりました。

飛び越えた後の皆の笑顔は、心なしか少し成長したように見えました。

最後に夏の豊かなお野菜と、母さんたちの手作りのパンを頂きました。

食べ物を最後の最後まで配り続けてくれた 7 年生たち、ありがとう。

この学園の子どもたちはいつも惜しまず小さな子どもたちや周りの人たちに手を差し伸べ助けてくれます。

そしてこのお祭りのために沢山時間を割いて尽くしてくださった父さん、母さんたち、先生方がいる。この学園が彼らによって支えられていることを、しみじみ感じた祝祭でした。ありがとうございました。(2 年生保護者 渋川亜樹)



教員自己紹介

* 1 学期を振り返って *



シュタイナーの思想に出会ってから、まもなく 21 年という月日が経つ。第 3 七年期が終わり、ひとり人間が自我を獲得するに要する期間を経て、ここ横浜シュタイナー学園の教員になるというご縁をいただいた。また新しい世界で一步を踏み出すこととなった喜びと緊張感にあふれて迎えた 4 月。それから夏休みまでの 1 学期間はまたたく間に過ぎた。先生方はあたたかく、子どもたちはかわいい。学園を支える親御さん方の愛には、感動すら覚える。毎日子どもたちの顔を見て、前日の学びを振り返り今日の学びに繋げてゆく。子どもたちの表情やその輝きを目の当たりにし、日々の繰り返しの尊さを再認識する。

人が育つ 21 年間のプロセスに、乳幼児期、学童期、思春期を経て青年期に至る段階があるように、振り返れば、私の人智学の学びや実践も、さまざまな段階が用意されていたと思う。天使はいつも新たな成長のチャンスを用意し、それはしばしば苦痛や困難というかたちでもたらされるといえるが、私がシュタイナーの思想に触れた時も、苦悩の最中であったことを思い出す。我が家の次女として生まれてきた娘は、重度の食物アレルギーで生後 4 か月からいつもどこかを掻きむしり、夜もぐっすり眠れない。母乳からアレルゲンがいけないよう、私はお米すら食べることも避けて、粟、ひえ、キビをローテーションで食べ、野菜はキャベツやレタスなど、くせのないものを選び、調味料は塩のみ、と徹底した食事コントロールでガリガリのふらふらになる中、医療や農業のあり方に意識が向き、衣食住を見直してゆくことになる。

そんな時に巡り合ったシュタイナー思想は、農業、医療、教育とあらゆる分野に及び、知れば知るほどそれらすべてが繋がっていることに興奮し、私の中によやく光がさした気がした。繊細な身体を持って私のもとへやってきた娘をまるごと肯定し感謝することで暮らしは大変ながらも豊かになっていった。その後はたくさんのご縁が繋がって、繋がって、流れ流れて、娘たちを道連れにしてアメリカのサクラメントまで学びに行くことになる。そこに『ほんもの』があるのかどうか確かめたかった私が両親や義父母たちへの言い訳に使った『シュタイナー教育を学び、教員資格をとる』という言葉が、自分の本当の心の声と一致したのは渡米後 2 年が経とうとした頃で、最後の 1 年は必死に教育の勉強や実習に取り組んだ。

帰国してからはシュタイナー幼稚園、土曜クラス、放課後クラス、未就園児クラスや親のための勉強会、こどもクラスの手仕事や、エクストラレッスンなど、さまざまな機会を与えて頂いてきたが、それらは夫の転勤、娘達の転機、引っ越しなど、物理的精神的な壁の出現のおかげとも言える。多くの痛みや困難は出会った人たちや、人智学の学びが助けてくれた。

横浜シュタイナー学園の教師にとの思いを決意した時、この時ばかりは、これまでの変化を見てきた夫や子どもたちも驚いた顔をした。「赤ちゃんから大人まで、たくさんの人たちと関わるそれぞれのクラスやご縁に何の不満もなさそうだったから」と。そう、その満足していた状況を自分の意志であえて変えるというのは私にとって大きなチャレンジであったし、この決意が正しいかどうか、確信が持てなくて揺らいだ時もあった。それでもその背中を押してくださった学園の先生方の存在があり、『今』があることに感謝したい。

これからの 9 年間、まだ想像もできないほどのことがきっと用意されることだろう。歩み続け、学び続けながら、私を超える存在になっていくであろう子どもたちに真摯に寄り添っていきたいと思う。

(1 年生担任 伊藤雅子)

*** 1 学期月例祭 * 7月15日(土) @みどりアートパーク**

2017年1学期。1年生から9年生まで一堂に会して今年度初めての月例祭が行われました。

月例祭は、学内において一学期ごとに各学年の日ごろの学びを披露し、皆で子どもたちの成長を喜び、見守る会です。はじめて参加の1年生も可愛らしい姿に笑顔が溢れ、1年1年の確かな成長に会の最後には感動の涙という場面もありました。



1年 朝のリズムの時間より



2年 音楽、朝のリズムの時間(夏)より



3年 オイリュトミー「朝の鐘 夕方鐘」
「三角形の動き(グルリット作曲)」



4年 中国語の授業より



5年 オイリュトミー「五星形」
「真砂なす数無き星のその中に我にむかひて光る星あり」



6年 笛の合奏「これは何とすばらしい音だ」
「サリー・ガーデン」「とねりこの森」



7年 詩の朗唱 「枕草子」「平家物語」
英語の歌と詩



8年 詩の朗唱 谷川俊太郎「春に」



9年 歌「Puff, The Magic Dragon」
朗誦「Chief Seattle's Message」
歌「This Land Is Your Land」

シュタイナー学校を知りたい!

講演会

「豊かに育つ子どもたちの話」
日にち：9月3日(日)
時間：10:00~12:00
講師：黒沼垂矢(4期生担任)
会場：霧が丘校舎
料金：1,500円(要予約)
保育：あり(有料・要事前予約)
詳細は学園 WEB サイトでご確認ください。

お父さんのための茶話会

“父親のための父親による茶話会”

近年、教育を選ぶ時代に入ったともいわれています。未来を担う子どもたちのこと、教育のこと、父親として思うことなど、学園の父親たちとざっくばらんにお話ししましょう。
どうぞお気軽にお越しください。

日にち：9月2日(土)
時間：13:00~15:00
会場：霧が丘校舎
料金：無料(要予約)

校内見学会

ガイドツアー形式で学園内をご案内します(正味1時間)

日にち：9月8日(金)
10月20日(金)
時間：15:30~
会場：霧が丘校舎
料金：無料(要予約)
お子様連れも可です。
※お子様の上履きをご持参下さい。

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuen-info@yokohama-steiner.jp

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替：00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店(セピア店)当座0130702

インフォメーション

2018年度入学説明会

日時：9月16日(土)[A]
9月23日(土)[B]
9月30日(土)[B]
時間：[A] 14:00~16:00
[B] 10:00~12:30
場所：[A] 霧が丘校舎
[B] 十日市場校舎

参加費：無料

※A・B順に参加された方のみ入学願書(1,000円)で配付します。

※A・Bともご両親でのご参加が原則となります。

※詳細はチラシ・学園 WEB サイトをご確認の上事前にお申しください。

かぞくのフェスティバル 子どもといっしょのくらしかた

日にち：8月26日(土)
時間：10:00~15:00

会場：霧が丘校舎

料金：無料

みる●きく●あそぶ●たべる
まなぶをたっぷり楽しめる1日です
※詳細は Facebook ページをご覧ください。

◆YSG お知らせメール配信中

公開講座やイベント開催など、学園のさまざまなトピックをいち早くメールでお知らせします。
ご希望の方は学園 WEB サイトよりご登録ください。

続・ルポ「シュタイナー学校の1年」 〜自由への曳航〜絶賛連載中!!

2012年4月から2013年3月まで横浜シュタイナー学園の教育を取材したルポルタージュ「シュタイナー学校の1年」。

その続編「自由への曳航」の連載が、2017年4月より学園 WEB サイトで始まっております。前作から4年。さらに深く鋭く切り込んだ記事です。現在掲載中の最新号は「第5話 心は動いているか=学園のアクティブ・ラーニング」です。なんだか題名を読んだだけで心が跳って来ませんか。臨場感あふれる授業の様子がご覧いただけます。

月1回程度更新しています。最新3話のみ公開のため、すでに見られない記事もあります。ご了承ください。毎月更新ごとに旧話が見られなくなってしまいますので、時々チェックしていただくと嬉しいです。どうぞお見逃しなく!!

ご支援ありがとうございます
〜よこはま夢ファンドを通して〜
5/1~31 豊田茂芳様

ご寄付ありがとうございます。
杉田克明様、加藤洋子様
星の金貨様、
心より感謝申し上げます。

横浜シュタイナー学園

Newsletter 第103号

2017年7月25日発行

編集：広報の会

発行：NPO法人 横浜シュタイナー学園

<https://yokohama-steiner.jp>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転載をお断りします